

ご挨拶

- ①出身地
- ②研究内容
- ③趣味
- ④好きな言葉



学際的、国際的な研究の楽しさを伝えたい

新福 洋子 大学院医系科学研究科 保健学分野 国際保健看護学 教授

- ①東京都
- ②アフリカの女性が健康に妊娠・出産を経験するための助産師教育・評価研究
- ③旅行、グルメ
- ④If you want to go fast, go alone. If you want to go far, go together.

2020年3月に医系科学研究科に国際保健看護学の専門で着任しました。私は聖路加国際大学を卒業し、助産師として臨床経験を積み、イリノイ大学シカゴ校 看護学研究科博士統合課程を修了しました。インドのデリーにある世界保健機関東南アジア地域事務局（WHO、SEARO）でのインターンの後、母校に戻り助教、京都大学 大学院医学研究科で准教授を務めました。アフリカでの国際共同研究を継続・発展する中、日本学術会議若手アカデミー、世界で200名の若手科学者の団体であるGlobal Young Academyのメンバーに選ばれ、副代表、執行役員として国内外の若手科学者の研究環境改善や若手科学者同士、またシニアとの議論の場に参加し、政策提言を行っています。

社会にとって何が大切か、どのような未来を作っていくのか、そのために今何をすべきか、学術分野を超えた国際的な話し合いは刺激的で面白く、みなさんにもぜひご参加いただきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



就任のご挨拶

中野 由紀子 大学院医系科学研究科 医学分野 循環器内科学 教授

- ①広島県
- ②ブルガダ症候群（突然死を起こす不整脈）のリスクの層別化研究・分子生物学的研究、心房細動の臨床・基礎研究
- ③美味しいパンやお菓子を食ベること
- ④初心

令和2年4月1日付けで広島大学 大学院医系科学研究科 循環器内科学の教授に就任しましたのでご挨拶申し上げます。

私は平成3年に広島大学 医学部を卒業し、広島大学病院、県立広島病院で研修を行い、第一内科に入局後、安佐市民病院 循環器内科に勤務し、循環器診療を学ばせて頂きました。広島大学に帰学し、医学博士を取得しました。その後は、第一内科 茶山 一彰教授の元で致死的不整脈の臨床的・分子生物学的研究を開始し、平成15年からは広島大学不整脈チームの責任者となり、カテーテルアブレーション治療を始めとした不整脈診療・研究を中心に行うようになりました。平成20年には、第一内科、第二内科の循環器グループが統合され、木原 康樹前教授のもと循環器内科が独立しました。これからは不整脈に限らず、循環器すべての先生方の育成と広島循環器研究・臨床レベルの向上、広島大学の発展に少しでも貢献できるように研鑽をつみたいと思っておりますので、これからもどうかよろしくお願いいたします。